



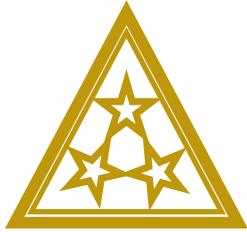
平成17年3月期

決算説明会

株式会社 中山製鋼所

NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.

平成17年5月10日

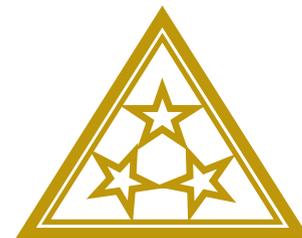


本日ご説明の内容

- ・ご挨拶 ~ 代表取締役社長 神崎 昌久
- ・当社グループの概要と事業展開について
- ・平成17年3月期決算のご説明
~ 常務取締役 川村 稲造
- ・質疑応答 ~ 代表取締役社長 神崎 昌久

ご挨拶

代表取締役社長 神崎 昌久

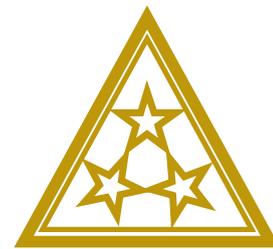


1. はじめに

2. 当社の経営戦略の3つの柱について

- (1) 営業・生産のフレキシビリティを追求する。
- (2) 高級鋼化を目指す。
- (3) 財務体質を強化する。

・当社グループの概要と 事業展開について



- 1．当社グループの概要
- 2．鉄鋼事業の構造改革について
- 3．新商品開発について
～ 超微細粒鋼 (N F G)
- 4．新規事業計画について
～ 産業廃棄物処理・リサイクル事業

1 - 1 . (株) 中山製鋼所(グループ)の概要

平成17年3月末現在



設立 : 大正12年(1923年)12月 創立 81年

所在地 : 大阪市大正区船町1-1-66

従業員数 : 当社 793名、グループ全体 1,754名

グループ会社 : 国内 7社(連結子会社)

国内拠点 40ヶ所

(内、製造拠点 12)

資本の状況

・株主資本 564.7 億円

・発行済み株式総数

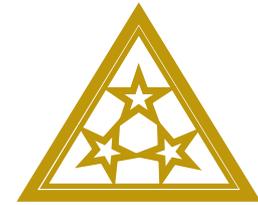
約 125 百万株



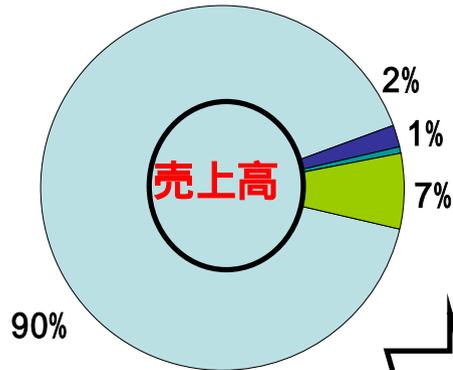
: 製造拠点

: 販売拠点

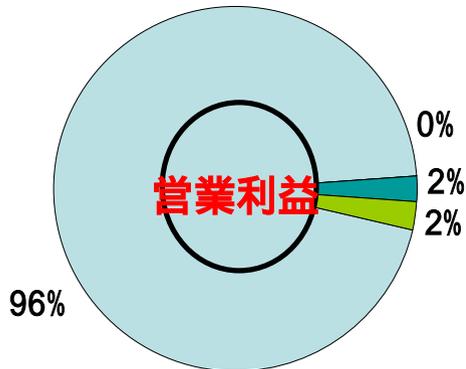
1 - 2 . 事業セグメントと品種



■ 鉄鋼事業 ■ エンジ ■ 不動産 ■ 化学



■ 鉄鋼事業 ■ エンジ ■ 不動産 ■ 化学



事業区分	主要製品等		
鉄鋼事業	鋼	鋼板	熱延鋼帯、厚板、中板 縞鋼板、メッキ鋼帯
	材	条鋼	線材、ハーフインコイル、棒鋼、 軽量C形鋼
		その他	コークス、鋼片、副産物
エンジニアリング事業	建設 海洋 鋳造・機械	建築総合工事 鋼製魚礁、増殖礁 ロール、バルブ、産業機械	
不動産事業	不動産の賃貸、売買		
発電事業	電力卸供給作業受託		
化学事業	化学工業薬品製造		

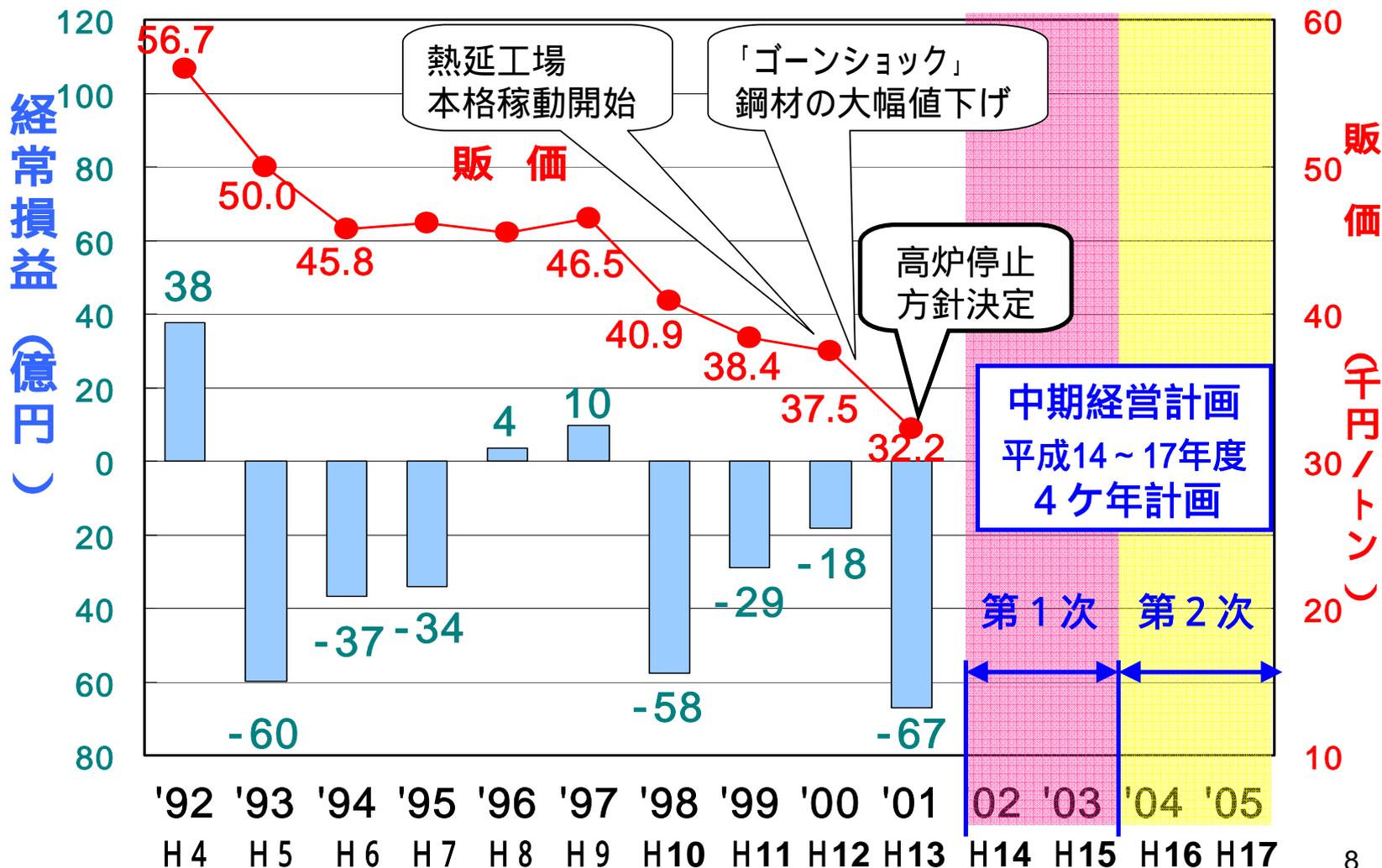
1 - 3 . 会社の沿革



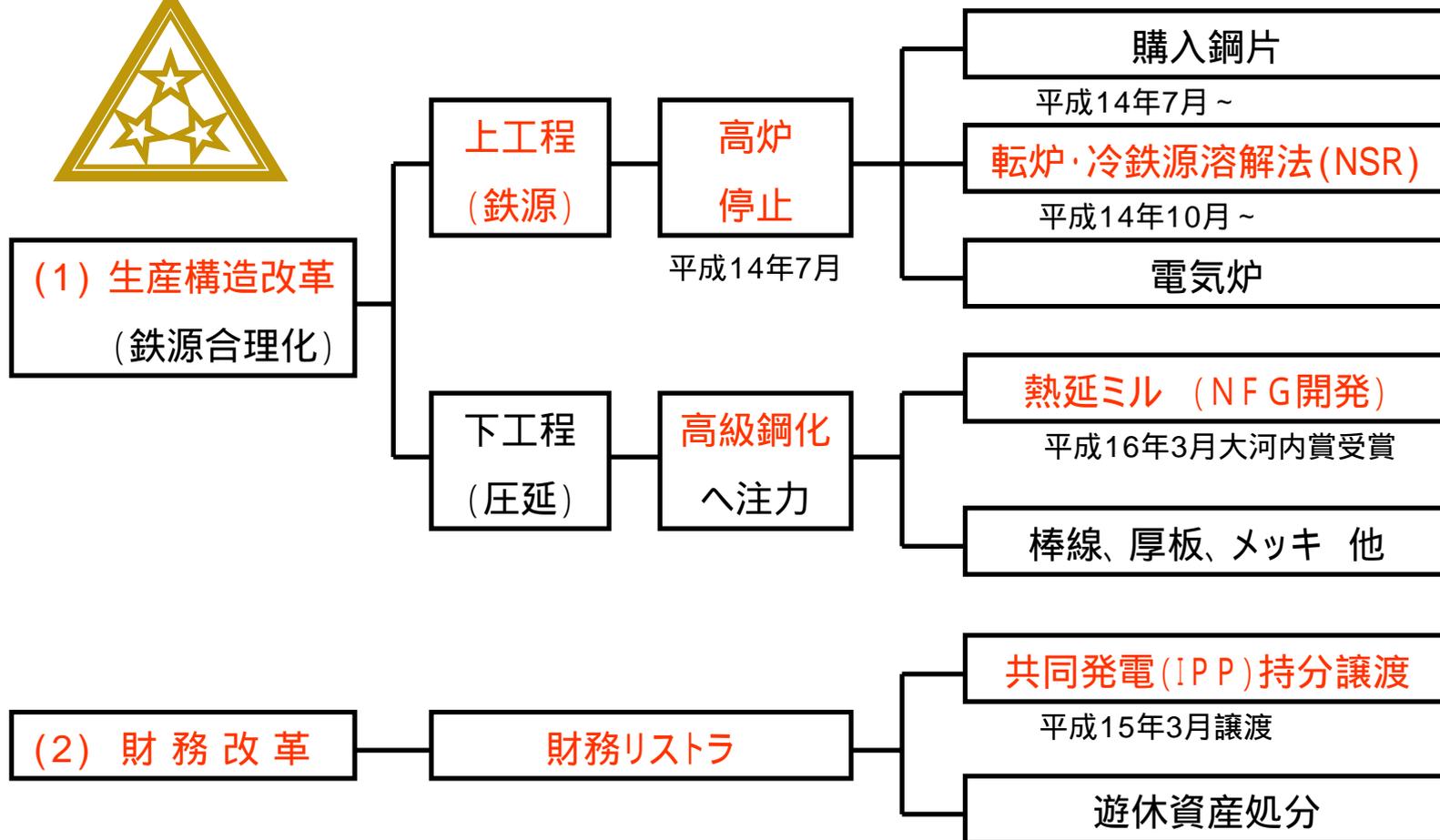
1919年(T8) 中山悦治個人創業
 亜鉛鉄板工場設立(尼崎)
1923年(T12)(株)中山悦治商店設立
 (大阪市)
1929年(S4) 薄板工場新設(船町)
1933年(S8) 製鋼工場第1号平炉新設
1934年(S9) (株)中山製鋼所に商号改称
1939年(S14) 第1高炉(450T/日)新設
 ~ 銑鋼一貫体制
1956年(S31) 厚板工場改造移設
1974年(S49) 連続亜鉛メッキ設備新設
1975年(S50) 転炉工場新設
1981年(S56) 棒線工場新設
1986年(S61) 形鋼工場新設
1991年(H3) 連続亜鉛メッキ設備改造
1991年(H3) 電気炉新設(直流化)

1999年(H11) 関連3社統合
 ~ 中山三星建材設立
2000年(H12) 熱延工場新設
2001年(H13) 完全連結決算開始
2001年(H13) NFG開発に成功
 ~ 工業生産開始・世界初
2002年(H14) 中期経営計画スタート
 ~ 4ヶ年・構造改革
2002年(H14) 高炉・焼結工場停止
 NSR(転炉型溶解法)稼動
2004年(H16) NFGが大河内記念
 技術賞を受賞
2004年(H16) (株)NSボルテン設立
2005年(H17) (株)NS棒線設立

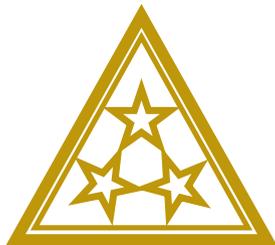
2 - 1 . 単独経常損益の推移 (構造改革前10年間)



2 - 2 . 第1次構造改革(平成14、15年度)

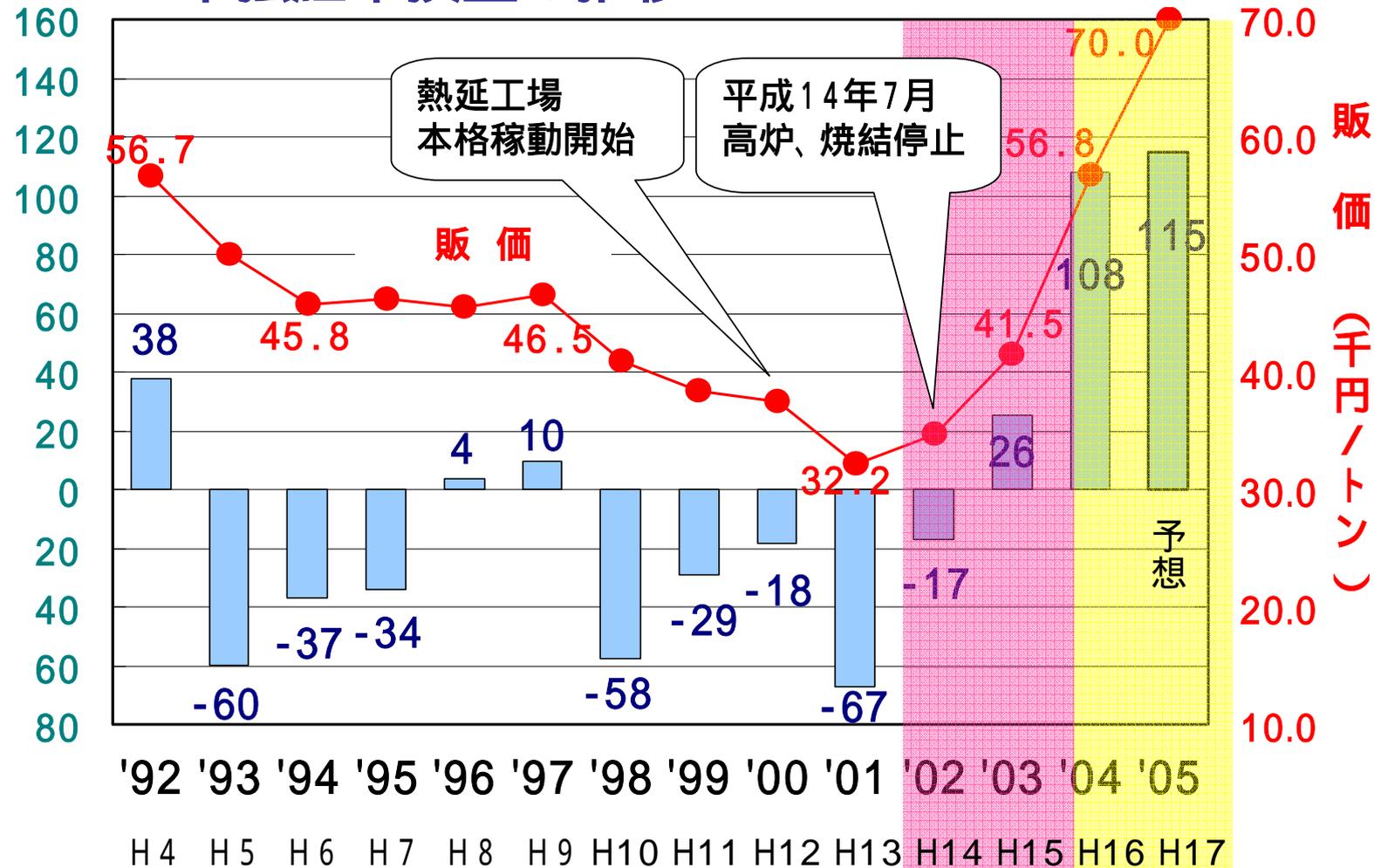


2 - 3 . 第2次構造改革(平成16、17年度)



2 - 4 . 単独経常損益の推移

経常損益
(億円)



3. 新商品開発について



NFGは独自の最新技術により開発した
画期的な熱延鋼板です。

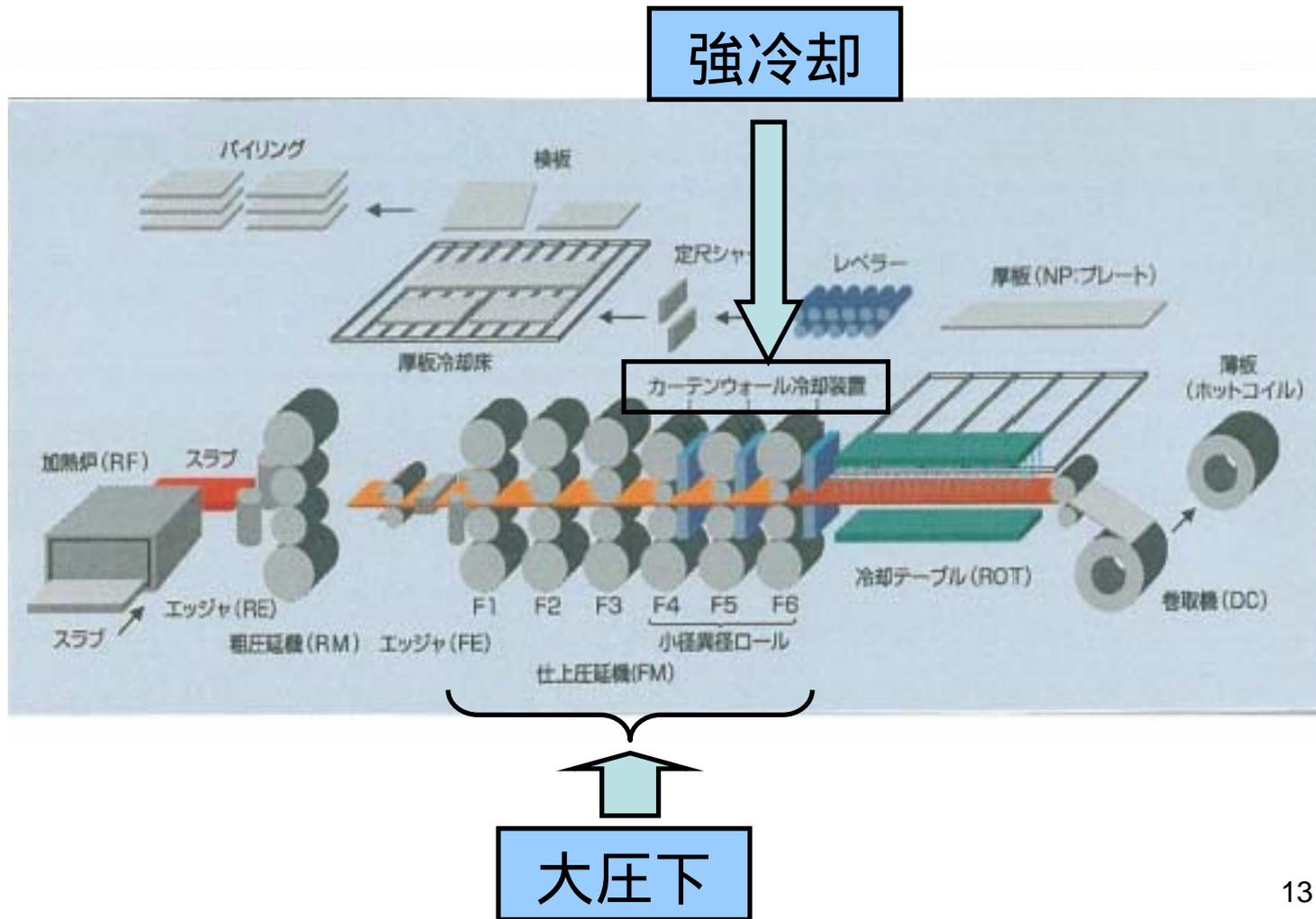
Nakayama Fine Grain

NFG

鉄の結晶を3分の1以下の大きさ(微細粒組織)に
することで高強度(従来の1.5倍以上)を実現！！

世界初・超鉄鋼の誕生

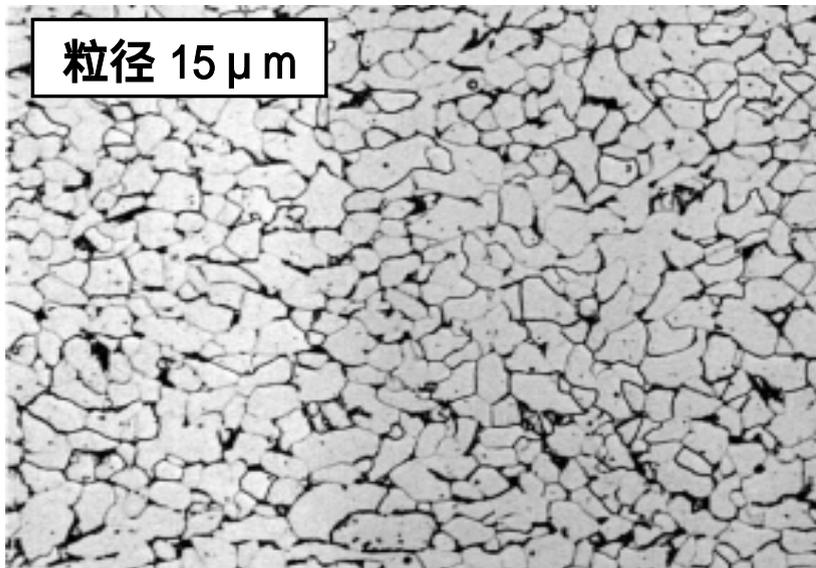
3 - 1 . 超微細粒鋼板製造設備 (熱延工場)



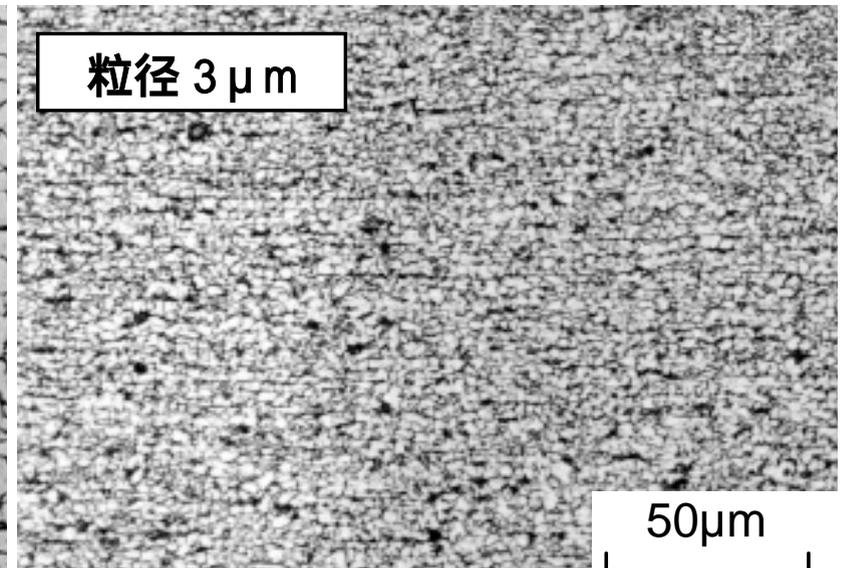
3 - 2 . 超微細粒鋼板の結晶粒径



・世界に先駆け、フェライト粒径 $3\ \mu\text{m}$ を達成

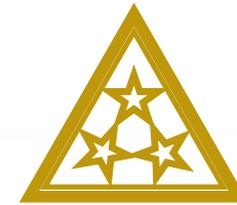


従来の熱延鋼板

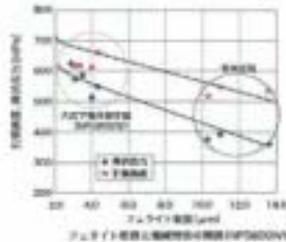


超微細粒熱延鋼板

3 - 3 . 超微細粒鋼板の特長



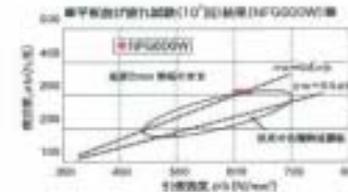
■ 高強度 (破壊・変形しにくい)



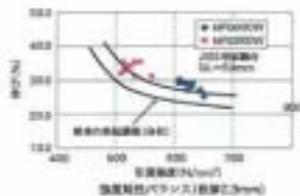
■ 省資源・ リサイクル性

合金鉄使用量は約半分。
組成純度が高く、リサイ
クル性に優れている。

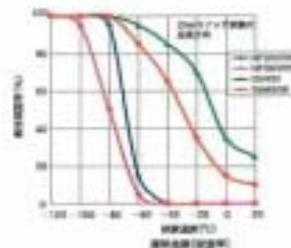
■ 高疲労限 (金属疲労しにくい)



■ 加工性に優れる (厳しい加工に耐える)



■ 低温靱性に優れる (氷点下でも粘り強い)



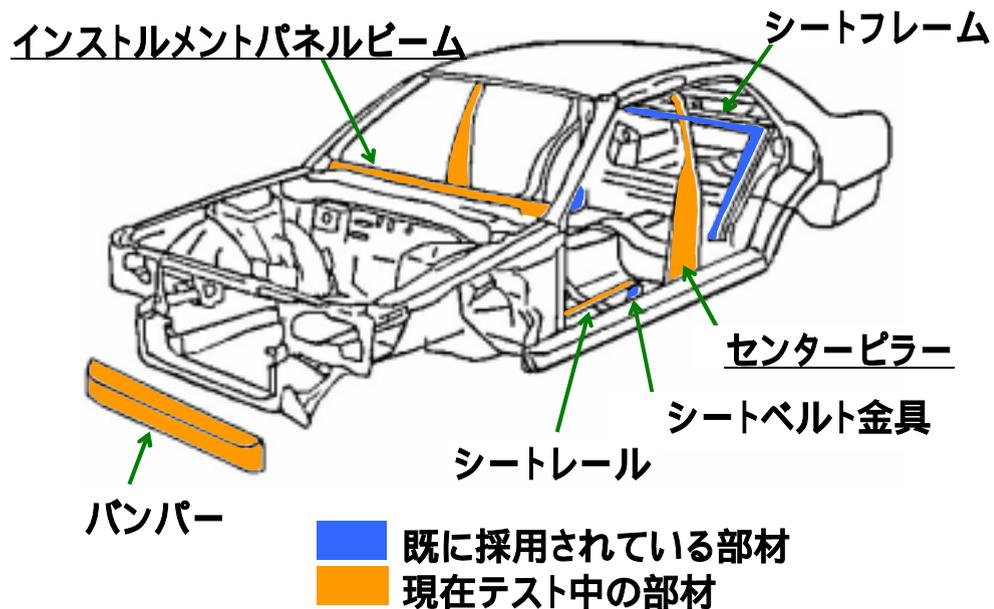
■ 溶接性が良い

炭素含有量が少ないため、
溶接時に割れない。
また溶接部の強度も充分
確保される。

平成16年3月 : 大河内記念技術賞 受賞

平成17年5月現在 : 製造特許 国内 15件 海外 5件 取得済み

3 - 4 . 超微細粒鋼板の用途例

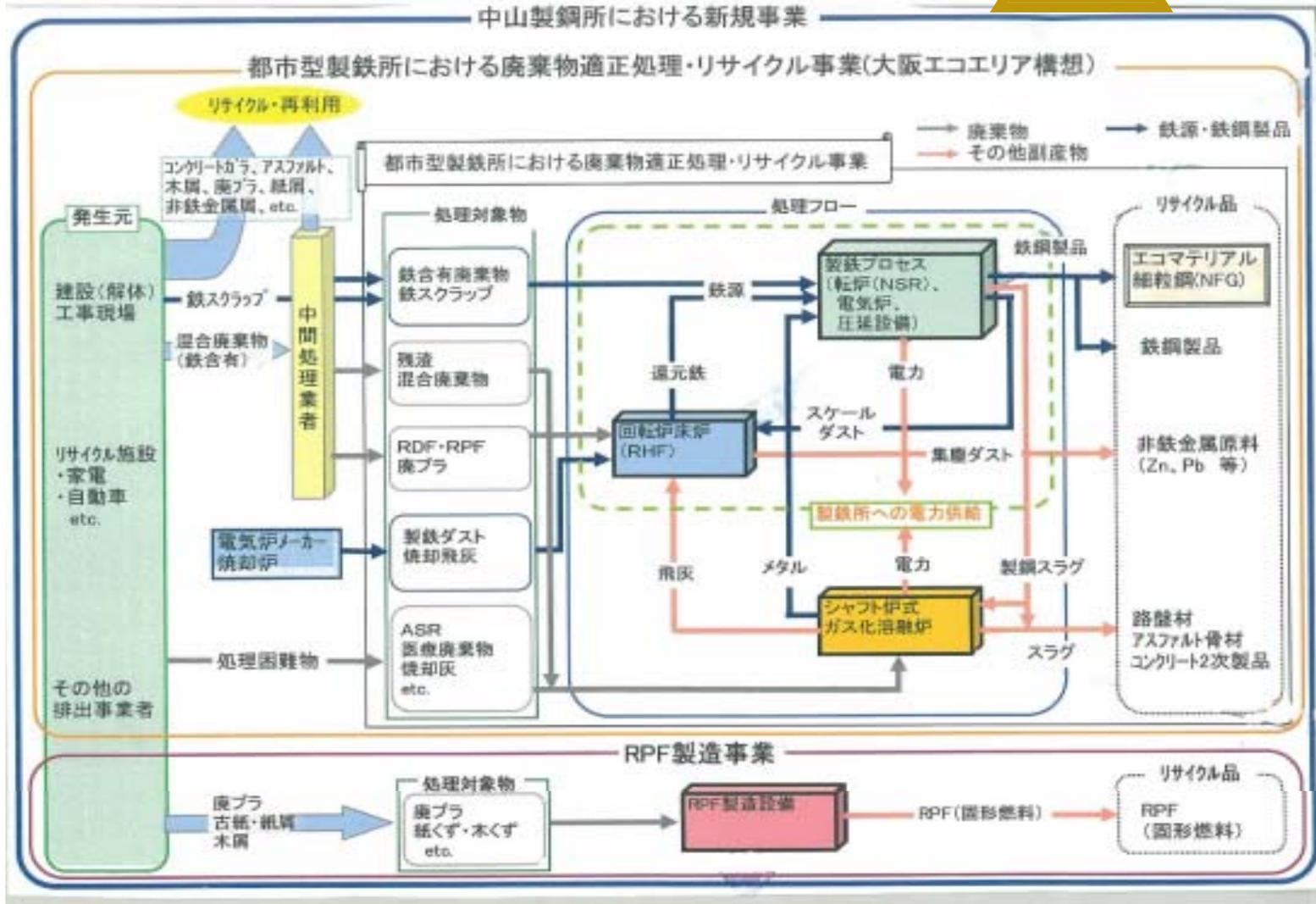


インストルメントパネルビーム



センターピラー

4. 新規事業計画について



4 - 2 . 新規事業の進捗について



	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
1 . 固形燃料化設備 (R P F) (1) 官庁許可申請 (2) 建設工事	新会社設立 原料収集				
	実操業開始 : 平成17年2月 ~				
2 . ガス化溶融炉設備 R H F 設備 (1) 環境アセスメント (2) 官庁許可申請 (3) 建設工事	新会社設立 (エコメルト) 方法書	準備書	評価書		
	実操業開始				
	ガス化溶融炉 : 平成 21年 2月 ~ R H F 設備 : 平成 20年 5月 ~				

平成17年3月期 決算のご説明

決算 - 1 連結 経常損益

決算 - 2 連結 特別損益

決算 - 3 連結 貸借対照表

決算 - 4 連結 キャッシュ・フロー

決算 - 5 連結 財政状態

決算 - 6 平成18年3月期 業績予想



決算-1 連結 経常損益

(単位：百万円)

<連結>	16年度	対15年度	
		増減	倍率
売上高	173,562	+44,515	1.3
営業損益	17,374	+9,943	2.3
経常損益	15,654	+10,504	3.0
特別損益	4,038	2,613	2.8
当期損益	7,351	+4,841	2.9



16年度	売上高	営業損益
鉄鋼	159,903	16,597
エンジニアリング	3,284	2
不動産	1,099	381
化学	11,500	435
消去	2,225	41
連結 合計	173,562	17,374

<単独>	16年度	対15年度	
		増減	倍率
売上高	112,786	+33,886	1.4
営業損益	12,746	+7,857	2.6
経常損益	10,789	+8,242	4.2
特別損益	5,524	4,434	5.1
当期損益	5,256	+3,725	3.4
配当	8円/株	+5円/株	2.7



【単独の内、鉄鋼事業：コークス除く】
 売上高 +31,207百万円
 (69,072 100,279)
 数量：+4,285 価格：+26,922
 経常損益 +7,754百万円
 (1,701 9,455)
 販売価格+26,922 固定費 2,516
 数量増 +1,314 労務費：1,009
 修繕費：1,303
 原材料 16,750 その他：204
 (変動費の内数) 変動費 17,967

決算 - 2 連結 特別損益

(単位：百万円)

科 目		16年度
特 別 利 益	投資有価証券 売却益	1,056
	営業移転利益	695
	貸倒引当金 戻入額	21
	合 計	1,774
特 別 損 失	固定資産除却損	4,238
	設備解体引当金 繰入額	687
	長期休止設備に係る費用	434
	貯蔵品等 廃棄損	167
	固定資産 売却損	80
	石炭税 調整額	69
	その他の特別損失	134
	合 計	5,812
特別損益 -		4,038

保有の投資有価証券の売却

子会社(中山三星建材)のボルト工場を
新日鐵(株)殿の子会社と統合
~ (株)NSボルテン

第一次構造改革(生産構造の改革)に
おいて、今後の活用を検討していた
設備等 最終判断

上記設備の解体費用を前倒し計上



決算 - 3 連結 貸借対照表

科目	平成17年3月期		増減 要因
	実績	前年度末 増減	
流動資産	78,470	+15,956	
現預金	6,710	2,054	手元資金 を圧縮
売掛債権	45,206	+11,239	販売価格の 上昇が主因
棚卸資産	25,637	+ 6,893	仕入価格の 上昇が主因
その他	917	122	
固定資産	142,276	5,921	減価償却 7,669 投資 + 4,768 除却 3,664 ホルト移転 523
有形・無形	136,265	7,171	
投資 他	6,010	+ 1,250	
繰延資産	2	6	
資産 計	220,750	+10,027	

科目	平成17年3月期		増減 要因
	実績	前年度末 増減	
流動負債	81,454	+4,251	仕入価格の 上昇が主因
買掛債務	28,245	+5,412	
借入金・社債	46,992	3,997	
その他	6,217	+2,836	
固定負債	69,086	7,242	有利子 負債 11,370
借入金・社債	38,336	7,373	
引当金 等	10,824	264	
繰延税金負債	19,926	+ 395	
負債 計	150,541	2,991	
少数株主持分	13,730	+1,839	
資本金	14,104	+1,200	C B 転換 +2,400
資本剰余金	8,626	+1,644	
利益剰余金	16,411	+6,718	当期 純利益 +7,351 配当金他 633
土地再評価差額	16,817	+ 0	
有価証券差額	855	+ 275	
自己株式	337	+1,340	
資本 計	56,478	+11,179	
負債・少数株主・ 資本 合計	220,750	+10,027	

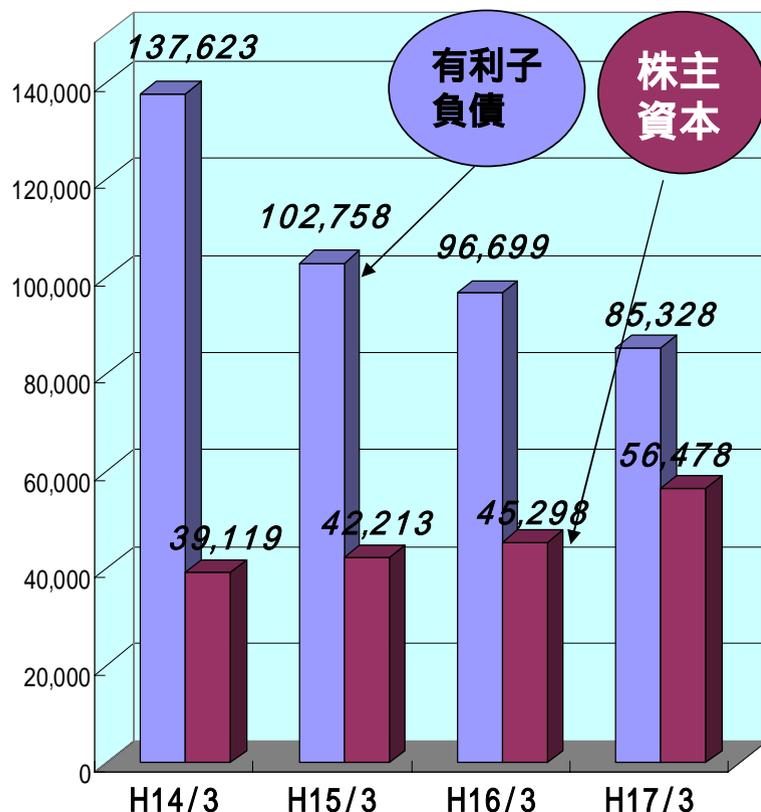
決算 - 4 連結 キャッシュ・フロー

	平成17年3月期	平成16年3月期	前年度比
営業活動	9,134	9,069	+ 65
投資活動	3,749	1,534	2,215
フリー・キャッシュ・フロー	5,385	7,535	2,150
現預金圧縮	2,054	937	+ 1,117
有利子負債 返済等 原資	7,438	8,472	1,034
財務活動	7,438	8,472	+ 1,034
(内、配当金支払)	626	0	626
(内、有利子負債返済)	7,700	6,059	1,641
転換社債発行 転換	2,400	0	2,400
その他	1,270	0	1,270
期末有利子負債残高	85,328	96,699	+ + 11,370

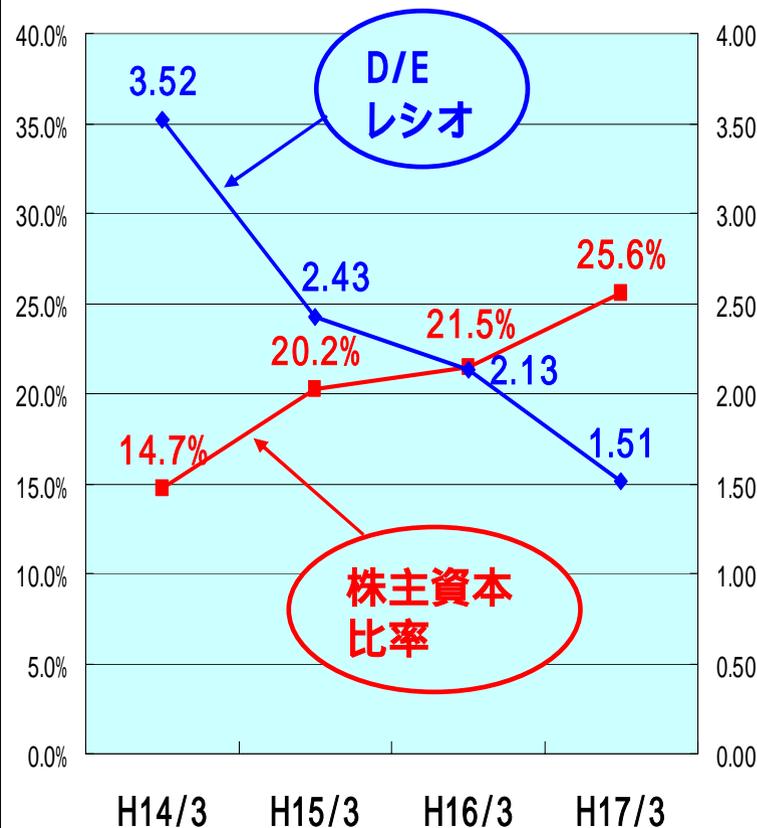
決算 - 5 連結 財政状態



有利子負債と株主資本の推移



D/Eレシオと株主資本比率の推移



決算 - 6 平成18年3月期 業績予想

(単位：百万円)

<連結>	17年度	対16年度	
		増減	倍率
売上高	200,000	+ 26,438	1.15
営業損益	18,000	+ 626	1.04
経常損益	16,000	+ 346	1.02
特別損益	2,500	1,538	0.61
当期損益	10,000	+ 2,649	1.36



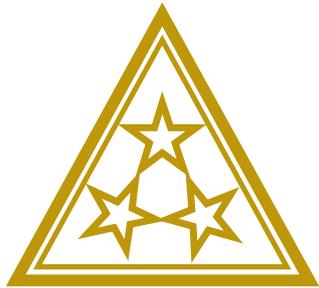
17年度	売上高	営業損益
鉄鋼	186,200	16,750
エンジニアリング	3,400	120
不動産	600	280
化学	12,200	880
消去	2,400	30
連結 合計	200,000	18,000

<単独>	17年度	対16年度	
		増減	倍率
売上高	140,000	+ 27,214	1.24
営業損益	13,500	+ 754	1.06
経常損益	11,500	+ 711	1.07
特別損益	2,500	3,024	—
当期損益	9,000	+ 3,744	1.71



鋼材	14年度	15年度	16年度	17年度
売上高 (億円)	577	687	997	1,225
販売量 (千トン)	1,663	1,656	1,756	1,750
販価 (千円/トン)	34.7	41.5	56.8	70.0

配当	10円/株	8円/株	1.25
----	-------	------	------



平成17年3月期
決算説明会

株式会社 中山製鋼所
NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.

平成17年5月10日